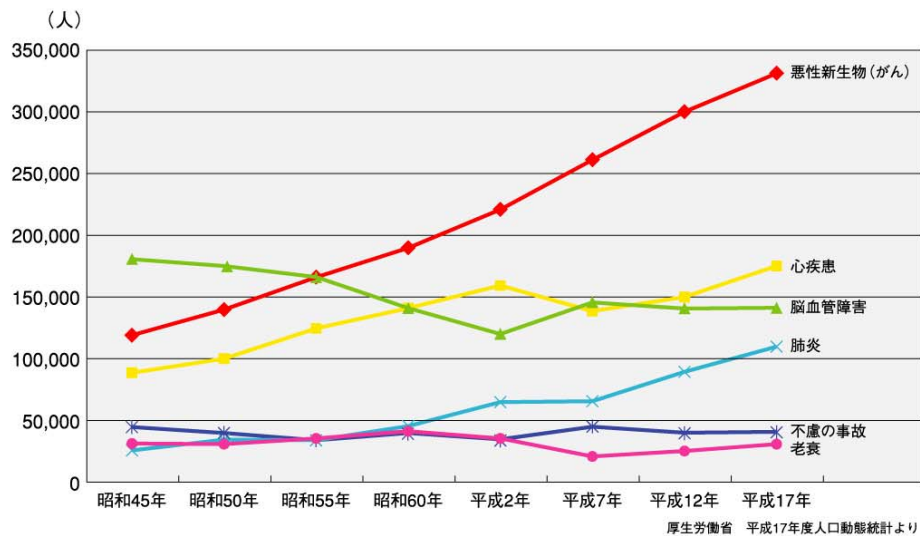


## 日本人の原因別死亡者数推移



昭和55年以降、悪性新生物(がん)による死亡が第1位となっています。  
現在、日本人の3人に1人は、「がん」によって亡くなっています。  
がんの克服のために、将来がん研究を志す若い力を求めています。

## 会場のご案内



○JR富山駅前より市電富山大学行き乗車、約20分「大学前」下車、徒歩7分  
○JR富山駅前より地鉄バス富山大学方面行き乗車、約20分「富山大学前」下車、徒歩1分

まだまだ謎がいっぱい。  
だから、  
チャレンジしたい。



入場無料  
参加登録不要  
どなたでもご参加いただけます。

## 文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「がん特定」青少年・市民公開講座

がん研究の  
今を学んで、  
未来を変えよう。

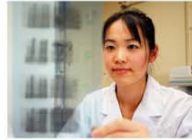
日時：平成20年2月3日(日) 13:00~16:00(開場12:30)  
会場：富山大学黒田講堂(富山大学五福キャンパス内)  
主催：文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「がん特定」青少年・市民公開講座実施委員会  
共催：富山大学、北陸がんプロフェッショナル養成プログラム  
後援：富山県、富山県教育委員会、北日本新聞社、富山放送局  
協賛：廣貫堂メディアフーズ(株)

連絡・問合せ：平成19年度「がん特定」青少年・市民公開講座実行委員会 委員長 高津聖志  
〒930-0194 富山市杉谷2630 富山大学杉谷地区事務部医薬系学務課 Tel 076-434-7120

文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「がん特定」青少年・市民公開講座

# がん研究の今を学んで、 未来を変えよう。

がん医療の最前線では、現在さまざまな研究が行われています。  
サイエンスという視点で見ると、がん研究には無限のフィールドが広がっています。  
「今、どんながん研究が行なわれているのか」を広く知っていただくために。  
高校生をはじめとする若い人たちの興味や関心を高め、  
未来のがん研究者をめざすきっかけをつくっていただくために。  
本公開講座では、日本を代表する4人の研究者が、がん研究の現状や成果などを紹介していきます。  
「がん研究の今、そしてこれから」が、わかりやすく学べる絶好の機会です。  
ぜひ、お気軽にご参加ください。



## 講師&プログラム

13:00~

### 開会のあいさつ

石川 冬木 先生

[文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「がん特定」青少年・市民公開講座実施委員会委員長、京都大学大学院生命科学研究所遺伝機構学講座 細胞周期学分野 教授]

13:05~

### 「細胞の死 細胞は如何にそして何故死ぬか？」

長田 重一 先生

[京都大学大学院医学研究科 分子生体統御学講座 分子生物学 教授]

13:45~

### 「成人T細胞白血病と免疫」

神奈木 真理 先生

[東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学分野 教授]

### 休憩

14:25~

### 「がんを知る、がんを治す」

野田 哲生 先生

[(財)癌研究会 癌研究所 所長]

14:40~

### 「遺伝子を調べてがんを治す —肺癌の分子標的療法と個別化医療—」

菓子井 達彦 先生

[富山大学附属病院 がん治療部 部長・准教授]

16:00~

### 閉会のあいさつ

高津 聖志 先生

[平成19年度「がん特定」青少年・市民公開講座実行委員会 委員長、富山県薬事研究所 所長、富山大学大学院医学薬学研究所免疫/バイオ・創薬探索研究講座(新創薬講座) 各員 教授]



### 「細胞の死 細胞は如何にそして何故死ぬか？」

長田 重一 先生

京都大学大学院医学研究科  
分子生体統御学講座 分子生物学 教授

#### MESSAGES

サイエンスはとても面白い分野です。生物の成り立ちを「分子の言葉」で理解しようとしています。パズルを解いていくようにひとつずつ謎を解いていく。謎がひとつでも解けたときの醍醐味、その面白さを知ってもらいたい。とてもやりがいのある仕事です。

#### PROFILE

昭和47年 3月 東京大学理学部卒業  
昭和52年 3月 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了  
昭和52年 4月 東京大学医学研究所 助手  
昭和52年11月 チューリッヒ大学分子生物学研究所 研究員  
昭和57年 1月 東京大学医学研究所 助手  
昭和62年 4月 大阪バイオサイエンス研究所第一研究部 部長  
平成 7年 7月 大阪大学医学部 教授  
平成14年 4月 大阪大学大学院生命機能研究科 教授  
平成19年 4月 京都大学大学院医学研究科 教授  
平成17年~18年 日本生化学会 会長  
平成19年~現在 日本分子生物学会 理事長  
平成 6年11月 Emil von Boehring Prize (Marburg Univ., Germany)  
平成 7年10月 Robert Koch Award (Koch Foundation, Germany)  
平成 9年 1月 Prix Laccasagne (French National Cancer League, France)  
平成12年 6月 恩賜賞・学士院賞  
平成13年11月 文化功労者・顕彰



### 「成人T細胞白血病と免疫」

神奈木 真理 先生

東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科  
免疫治療学分野 教授

#### MESSAGES

自分がやりたいと思う事は自然に一生懸命やるようになるものです。そして、結果がどうあれ、一生懸命やれば納得がいきます。自分の感性を信じ全力で進んで下さい。

#### PROFILE

昭和54年 関西医科大学医学部卒業  
昭和63年 京都大学大学院医学研究科修了  
昭和54年~56年 京都市立病院内科研修医  
昭和59年~62年 米国ハーバード大学豊長類研究所 研究員  
昭和63年 京都大学ウイルス研究所 研究員  
平成 1年~7年 熊本大学医学部 助手~講師~助教授(感染防御学)  
平成 7年~現在 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授(免疫治療学)



### 「がんを知る、がんを治す」

野田 哲生 先生

(財)癌研究会 癌研究所 所長

#### MESSAGES

がんは怖い病気ですが、多くのがんが治るようになってきます。そして、若いあなたたちの時代には、がんが、もう怖い病気では無くなるように、あなたたちが頑張る番です。そこで、今回は、皆さんと一緒に、これまでの「がんを知る」ための研究の成果を語り、そして、これからの「がんを治す」ための研究について考えて見たいと思います。

#### PROFILE

昭和55年 3月 東北大学医学部卒業  
昭和59年 3月 東北大学大学院医学研究科修了  
昭和59年 4月 米国国立がん研究所(NCI) 博士研究員  
昭和60年10月 京都大学ウイルス研究所 助手  
昭和63年 6月 米国マサチューセッツ工科大学 客員研究員  
平成 2年11月 (財)癌研究会 癌研究所細胞生物学部 部長  
平成 9年 7月 東北大学大学院医学系研究科 教授  
平成14年11月 東北大学大学院医学系研究科 附属創生応用医学研究センター センター長  
平成15年 8月 (財)癌研究会 癌研究所 副所長  
平成18年 4月 同 所長



### 「遺伝子を調べてがんを治す —肺癌の分子標的療法と個別化医療—」

菓子井 達彦 先生

富山大学附属病院 がん治療部 部長・准教授

#### MESSAGES

科学の進歩とともに「がん」の研究は大きく前進してきましたが、まだまだその克服にはいたっていません。ひとりでなくても多くのがん患者さんを救うためにみなさんの若い力を必要としています。

#### PROFILE

昭和52年 富山県立高岡高等学校卒業  
昭和59年 金沢医科大学医学部卒業  
平成 6年 富山医科薬科大学大学院医学研究科修了(医学博士)  
平成 8年~10年 米国国立がん研究所(National Cancer Institute) 客員研究員  
平成11年 富山医科薬科大学附属病院第1内科 助手  
平成16年 大阪市立総合医療センター臨床腫瘍科 副部長  
平成18年 大阪市立総合医療センター臨床腫瘍科 部長  
平成18年 大阪市立大学医学部臨床教授  
平成19年 2月 富山大学附属病院がん治療部 部長・助教授  
平成19年 4月 富山大学附属病院がん治療部 部長・准教授